

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第54号	氏名	松尾 謙一郎
学位審査委員		主査	根本 孝幸
		副査	小守 壽文
		副査	藤原 卓
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、シグナル分子阻害剤処理を行い、アムホテリシン B によって誘導される細胞内シグナル伝達に対する影響を明らかにしようとしたものであり、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 マクロファージ系細胞株である RAW264.7 を、アムホテリシン B で刺激し、炎症性サイトカインを誘導する主要な転写因子である NF-κB の活性化を調べ、この実験系に各種シグナル分子阻害剤を用いて、NF-κB の活性化に与える影響を適切に検討している。また、BALB/c マウスを用いて炎症性サイトカイン産生へのシグナル伝達物質阻害剤の影響を ELISA 法にてみており、その研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、アムホテリシン B によって誘導される炎症性サイトカインの産生におけるシグナル伝達は TLR2、Btk、PLC、PKC、c-Src、NF-κB が関わっていることを明らかにし、その解析や考察も高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は抗真菌剤の副作用の発生機序の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			